

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東部総合処理センター破砕選別施設建設工事	階数	地上4F
建設地	兵庫県西宮市鳴尾浜2丁目1番4、30番	構造	RC造
用途地域	準工業地域、防火地域・指定なし	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,200時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2024/1/22
敷地面積	12,797㎡	作成者	森高 雄児
建築面積	4,740㎡	確認日	2024/1/23
延床面積	8,666㎡	確認者	石井 登志郎



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

**標準計算**

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 3  
Q3 室外環境(敷地内): 3  
LR1 エネルギー: 3  
LR2 資源・マテリアル: 3  
LR3 敷地外環境: 3

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

機能性 耐用性 対応性

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

生物環境 まちなみ 地域性・

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源 非再生材料の 汚染物質

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		<b>その他</b> 特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 評価対象外。	<b>Q2 サービス性能</b> 建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。 給水VP(B)、給湯CUP(D)、排水VP(B)、Eは不使用。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 特になし。
<b>LR1 エネルギー</b> [BEIm] = 0.60。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> LGS使用している。 発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率88%。 「光害対策ガイドライン」の項目の過半を満たす。また、広告物照明について「広告物照明の扱い」の配慮事項の一部を満たしている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される